

長野県ICT教育推進センター

[GIGAスクール長野県ポータルサイト](#) (別ウィンドウで外部サイトが開きます)

(長野県教育委員会学びの改革支援課 × 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター)



令和3年4月1日(木) センター開所

(写真右より阿部守一知事、村松浩幸長野県ICT教育推進センター長、原山隆一教育長)

長野県ICT教育推進センターについて

長野県ICT教育推進センターは、センター長として信州大学教育学部 次世代型学び研究開発センター長の村松浩幸教授を迎え、有識者の助言を受けながらICT教育の端末整備のあり方や授業への研修方法、職員研修の充実を図り、県全体で取り組むDX戦略「スマートエデュケーションPJ」の目標を達成することを目的として、学びの改革支援課内に設置されました。

村松浩幸

信州大学学術研究院教育学系
附属次世代型学び研究開発センター長

<http://www.mura-lab.info>

令和3年度の目標：子どもたち全員が、クラウドによる「同時共同編集」ができる

⑥ 広報を含む情報発信の工夫



④ ICTの利用

学校においてICT端末とインターネットの効果的かつ安全・安心

⑤ 研修・周知

1人1台端末の意義、教職員への研修、家庭への周知

③ 組織・支援体制

先設置者による組織、支援体制の構築

② クラウド利用

アカウントIDの発行、配布、ネットワーク整備

① 管理・運用の基本

管理台帳、問合せ先設置、管理・運用上のルール

情報活用能力を高め、

- ・個別最適な学び
- ・協働的な学び



長野県ICT教育推進センター

市町村教育委員会

令和3年4月GIGA
本格スタート

学校

ID・Pass

タイピング

統計・資料の活用

プログラミング

情報モラル

写真撮影・管理

付箋アプリ

チャットアプリ

発表アプリ

表計算アプリ

基本操作
学習経験把握

使用場面

使用アプリ

一斉学習

協働学習

個別学習





素材提供：伊那市 ICT 活用教育推進センター



GIGA好事例紹介

GIGAスクールの好事例を紹介です



GIGA動画Library

GIGAスクール関係の参考になる動画集です



県内GIGA情報

県内のGIGAスクール関係の情報です

検索

月ごとの情報

2021年6月 (7)

2021年5月 (5)

2021年4月 (3)

2021年3月 (2)

2021年2月 (2)

2021年1月 (8)

2020年12月 (7)

内容別情報

動画Library (4)

好事例 (5)

県内情報 (77)



—長野県内の様々なGIGAスクール情報をお届けします—

📅 2021年6月8日

県内情報

喬木村 GIGA information が立ち上げ

喬木村は、GIGAスクール構想の実現を目指して「喬木村 GIGA information」を立ち上げました。喬木村では、「学校生活・日常生活において、デジタル機器やインターネットの活用を積み重ね、自身で利用をコントロー

長野県喬木村教育委員会のGIGAスクール情報発信

喬木村 GIGA Information

ホーム 保護者・地域住民の方 学校関係

学校関係者の方に向けて

喬木村 GIGA Information

ホーム 保護者・地域住民の方 学校関係

保護者・地域住民の方に向けて

ICTにかかわって、学校・教育委員会から配布、配信したお便りや資料を掲載しています。

喬木村 学校における ICT 活用ガイドライン

喬木村 ICT 活用方針
「学校生活を豊かにする ICT 活用」

ページ 1 / 4

喬木村 学校におけるICT活用ガイドライン

[GIGA端末の運用に関するQ&Aはこちらから](#)

別紙① Google Classroom 使い方①
新しいクラスの作成・生徒の招待

1 「クラスを作成」の画面を表示

ページ 1 / 2

別紙② Google Classroom 使い方②
生徒の一括登録

0 Google Classroomの使い方①をみて、新しいクラスを作成する

1 児童生徒のアカウントをコピーする

2 クラスの【メンバー】のページをひらきます

喬木村 GIGA Information通信①

2021.4. 喬木村教育委員会 0265-33-2002

GIGA…GIGAスクール構想
文部科学省が推進する、全国の児童生徒1人1台のPC端末と、学校の高容量の通信ネットワークを整備する計画のことです。

保護者の皆様のご協力をお願いします

- ご家庭に学習用PC端末を持ち帰ります。
- ご家庭のインターネット環境へ接続します。
- ご家庭で充電をしてから学校に持っていきます。

～学習用PC端末の破壊・故障の際の費用負担について～
基本的には教育委員会で負担します。

GIGA Information通信①

喬木村 GIGA Information通信②

2021.4. 喬木村教育委員会 0265-33-2002

学習者用PCを家庭でも安心してお使いいただける
4つの対策

<p>① 有害サイトのブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> 詐欺・ウイルス感染等、危険なサイトを年齢的にふさわしくないサイト 	<p>② 利用履歴の記録</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習用端末上で行った操作 閲覧したインターネットサイト
③	④

GIGA Information通信②

喬木村 学習者用コンピュータ・学校アカウントの利用について

- 学習者用コンピュータと学校アカウントは、各自の役割を適切に役割分担して使います。
- 学習者用コンピュータと学校アカウント、パスワードは責任をもって自身で管理します。
- 画面の「デジタルとうまく付き合っていく」をよく読み、それらを意識した使い方を身につけます。
- あやまった使い方をしないように、学習者用コンピュータと学校アカウントで行った連絡（いつ、だれが、何をしたか）はすべて記録されていることをわかっていただきます。
- あやまった使い方をしてしまった時は、学習者用コンピュータと学校アカウントを壊すことが禁止されることをわかっていただきます。
- 学習者用コンピュータと学校アカウントを破壊・故障したら、壊れた使い方をし直し、画面の「デジタルとうまく付き合っていく」をよく読み、毎日を確認していただきます。

喬木村 学習者用コンピュータ・学校アカウントの利用について

- 貸与された学習者用コンピュータ及び学校アカウントは、自身の生活を豊かに学習に役立てるために利用します。
- 貸与された学習者用コンピュータ及び学校アカウント、パスワードは責任をもって自身で管理します。
- 画面の「デジタルとうまく付き合っていく」に示された内容を理解し、それらを意識した使い方を身につけます。
- 違法行為や不適切な利用によるリスクを避けるため、貸与された学習者用コンピュータ及び喬木村教育アカウントの利用履歴（いつ、だれが、何をしたか）はすべて記録されていることを理解していただきます。
- 違法行為や不適切な利用があった場合には、学習者用コンピュータやアカウントの利用が制限され、学習活動に影響が及ぶことを理解していただきます。
- 貸与された学習者用コンピュータ及び学校アカウントの返却の際の運用について、家庭より使いこ



「教育DXお悩み相談室」開設

長野県ICT教育推進センター・信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター 共催

GIGAスクールで1人1台端末が導入されましたが、皆様順調に運用・活用は進んでいますでしょうか。これまでにない大規模な整備の中で、上手くいかないや困られたり、どのように対応したらよいのかと悩んでいる市町村や学校の先生方もおられるのではないのでしょうか。



例えば・・・

- ・機器の設定でわからないことがあるがどこに質問すればいいの？
- ・子どもたちが一斉に使うと、クラウドの動きが止まってしまうけれどどうすればいいの？
- ・市町村単位でGIGAスクールに関する研修を行いたいけどどうすればいいの？
- ・児童・生徒とどんな授業をイメージすればいいの？
- ・子どもたちはタイピングが苦手なのですが？ などなど。

そこで、長野県ICT教育推進センターと信大・附属次世代型学び研究開発センターは、こうしたGIGAスクールやICT活用での悩み事や相談事に対応し、いろいろな方々をつないでいく中で、ともに考え、その解決の糸口を見つけていこうと、「教育DXお悩み相談室」を開設いたしました。

「教育DXお悩み相談室」は、これまで学びセンターが行ってきた自治体支援事業を発展させる形で、月1回オンラインで短時間開催します。GIGAスクールやICT活用に関する最新の情報提供などしながら、皆様からお寄せいただいたお悩みや相談事を中心に様々意見交換をしていこうと思います。

○対象：市町村教育委員会等のご担当者様、各学校教員、ICT支援員

○開催：毎月 第3火曜日 16:30～ 30分程度 オンライン (zoom) にて

※途中入退室OKです。お気軽にご参加ください。

6.2
2021

第3回 「教育DXお悩み相談室」メールマガジン



◇◆-----

「教育DXお悩み相談室」メールマガジン Vol.3

※本メールは、「教育DXお悩み相談室」からお申し込みいただいた皆様に配信させていただいております。

-----◇◆

第2回のお悩み相談室も、多くの皆様にご参加いただき盛況でした。

県内外の方がこうして定期的にやり取りできること自体、GIGAスクールの第一歩かと思えます。

ぜひ地域・立場を越えて交流しましょう。

引き続き多くのご参加お待ちしております。

(村松@県&学びセンター)

1. 前回のお悩み相談室の様子と次回の紹介

教育DXお悩み相談室第2回目は、諏訪清陵高等学校附属中学校よりICT教育の実践についてお話いただきました。

ポイントは、

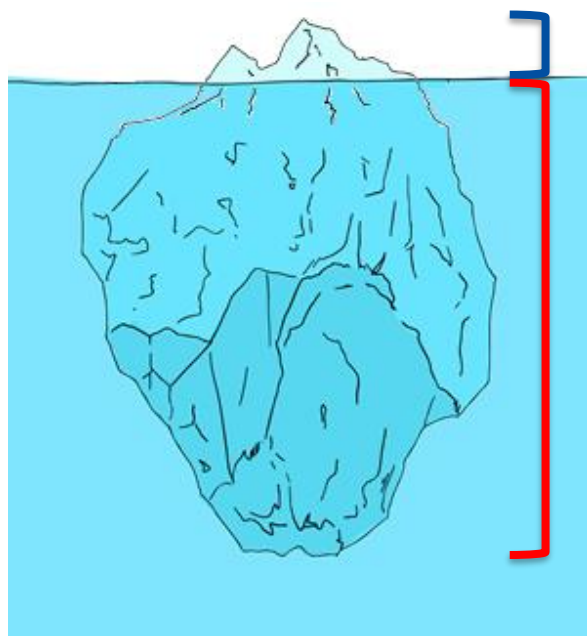
- ①ルールではなく「心得」にすること、
- ②「常設」して使用機会を広げること、
- ③「仕事分担」によって皆で推進する雰囲気を作ること、
- ④「日々の授業への活用」を意識することでした。



全ての教師が1人1台端末を利活用した実践を行うための取組

すべての教育委員会・学校・教師が、新学習指導要領の趣旨の実現に資するよう、
端末・ネットワークを活用し、児童生徒の資質・能力の育成を図ること

現状（イメージ）



1人1台端末環境での実践に
ある程度蓄積がある自治体 **約4%**
(令和2年9月までに整備済み：4.4%)

令和3年度から本格的に
1人1台端末環境での
実践を行う自治体 **約96%**

・令和2年10月～12月に整備：18.2%
・令和3年1月～2月に整備：27.5%
・令和3年3月に整備：47.5%
・令和2年度内は未整備：2.4%

||
この部分の底上げが必須
(全体を水面より上に押し上げて行く)

取組の視点

- 多くの学校・教師にとって、パソコンルームから普段の教室での1人1台端末の“普段使い”は、初めての試み。最初からパーフェクトということではなく、試行錯誤が大切
- 各教育委員会は、GIGAに関する情報発信や教員研修を実施して学校現場をサポートすることが大切
- 地域の実態に応じた教員研修を支援し、実施体制等のサポート状況を把握し、フォローを充実
- また、情報交換プラットフォームの構築等を通じて、自治体間の横のつながりを強化し、お互いに助け合い、協働・自走できる体制を構築

※同時双方向オンライン指導を実施した
学校設置者は15%（令和2年6月時点）

スタディーエックス スタイル
「StuDX Style」について

1人1台端末の利活用をスタートさせる全国の教育委員会・学校に対する支援活動を展開するため、「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台端末の活用方法に関する優良事例や本格始動に向けた対応事例などの情報発信・共有を随時行っていきます。

GIGAスクール構想の実現
～学校における1人1台ICT端末～

生きる力
学びの、その先へ

文部科学省
新しい学びのプラットフォーム
STEAMライブラリー

未来の教室
ポータルサイト

子供の学び応援サイト

スタディーエックス スタイル

StuDX Style

GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

臨時更新中 準備中 準備中

"すぐにでも" "どの教科でも"
"誰でも"活かせる1人1台端末の活用シーン

Step1 Step2 Step3

教師と子供が つながる
子供同士が つながる
学校と家庭が つながる
職員同士で つながる

GIGAに慣れる (文房具や教員として使えるようにする)

Step 1

GIGAに慣れる (文房具や教員として使えるようにする)

GIGAに慣れる

1-10 学習環境づくり
1-20 最初の指導を少人数で
1-30 端末利用のルール決めと意識化

教師と子供がつながる
子供同士がつながる
学校と家庭がつながる
職員同士でつながる

Step 2

教科等でのICT活用事例の拡充



StuDX Styleへのアクセス先 : <https://www.mext.go.jp/studxstyle/>

GIGA StuDXメールマガジン配信登録 : <https://www.mext.go.jp/magazine/index.htm#005>

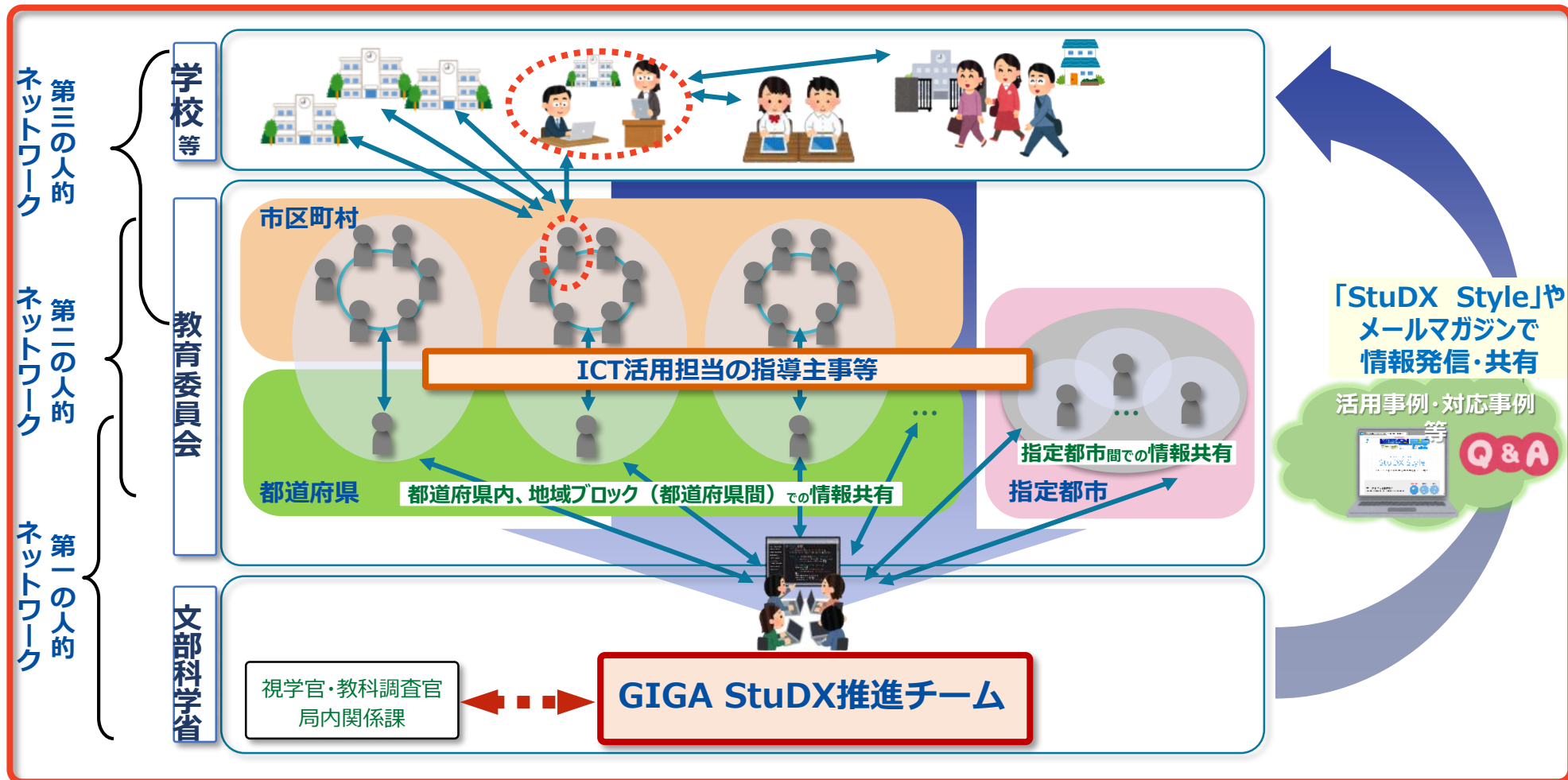
"すぐにでも" "どの教科でも" "誰でも"活かせる1人1台端末の活用シーン (例)

StuDX Styleに掲載されている事例から考えられる、学校や家庭における1人1台端末を活用した1日の流れの一例



ギガ スタディーエックス 「GIGA StuDX 推進チーム」と教育委員会・学校との情報交換プラットフォーム

文部科学省のGIGA StuDX推進チームと、各教育委員会のICT活用担当の指導主事等が人的ネットワークを構築し、学校等の取組の状況、教育委員会のサポート状況や、課題とその解決策等を双方向にやり取りしながら、文部科学省と自治体、自治体同士のつながりを強化し、全国の学校等におけるICT活用の充実につなげ、協働して「GIGAスクール構想の実現」に取り組む。



GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な利活用等について（通知）

【概要】

学校現場において、全ての関係者が安心・安全に、1人1台端末の本格的な活用を積極的に進められるよう、

- 学校設置者等において**留意すべき事項**を網羅的にまとめて周知徹底を図る。その上で、問題の発生を恐れて安易に使用を制限するのではなく、むしろ多くの場合には積極的に利活用する中で課題解決を図ることが重要との認識を示す。
- 学校設置者等が、新しいICT環境を本格的に運用するに当たり確認しておくべき事項について、教育関係者や学識有識者、医師など専門家の助言等を得ながら、先行自治体の取組等も分析した「**本格運用時チェックリスト**」とともに、児童生徒の健康面の配慮や、保護者等との関係構築についても整理して提供。

・「ICTの活用に当たっての児童生徒の目の健康などに関する配慮事項」

・「保護者等との間で事前に確認・共有しておくことが望ましい主なポイント」

1. 端末の整備・活用

2. 個人情報保護とクラウド活用

3. ICTの積極的な利活用

4. デジタル教科書・教材の活用等

5. 教員のICT活用指導力の向上

6. 情報モラル教育等の充実

7. ICTの活用に当たっての児童生徒の健康への配慮等

8. 保護者や地域等に対する理解促進

9. ICTの円滑な活用に向けた改善の継続

【通知】GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な利活用等について（令和3年3月12日付け）

https://www.mext.go.jp/content/20210312-mxt_jogai01-000011649_002.pdf

【解説動画】

<https://youtu.be/uoIvPpuENHk>